

## 第16回

# 拡大内視鏡研究会

もはや日常—拡大観察～near focusから超拡大まで～

器質的消化器疾患診断のgold standardは生検や切除標本を用いた病理診断ですが、超拡大内視鏡観察によって直接生きた細胞や核の画像に基づくoptical biopsyが可能になってきました。

共焦点レーザー顕微内視鏡、光学式接触型超拡大内視鏡が市販され、超拡大内視鏡がいよいよ実地臨床の場でも利用されはじめています。組織を採取しないin vivoの超拡大内視鏡診断が、採取組織のex vivo病理診断にどこまで迫れるか、どこが異なるかも明らかにする必要があります。

消化管にとどまらず胆膵領域にも応用され、超拡大観察を用いたAI診断、炎症性腸疾患の治療効果判定や再燃予測、さらには分子イメージング、癌以外の機能性疾患への応用など、様々な試みがなされています。

一方、NBIやBLIなど薬剤や色素を用いない画像強調拡大観察は、発売以来10年が過ぎ、その簡便さゆえに今やルーチン検査と言ってもよい存在となっています。海外での拡大内視鏡の普及はまだですが、near focusは比較的ポピュラーです。

今回はもはや日常となりつつある拡大内視鏡の現状と今後の展望に関して皆さんで再学習し、活発な討議を行いたいと思っております。多数の演題の御応募をお待ちしております。

日時

2019年  
9月14日(土)

会場

ベルサール汐留

東京都中央区銀座8-21-1  
住友不動産汐留浜離宮ビル2F

参加費

5,000円

一般演題募集 / 参加申込

2019年5月8日(水)正午▶▶7月12日(金)正午

【研究会URL】 <http://www.pw-co.jp/kakudai16/>

当番世話人:

檜田 博史 (近畿大学医学部消化器内科)

代表世話人:

吉田 茂昭 (青森県病院事業管理者)

工藤 進英 (昭和大学横浜市北部病院)

【事務局】

近畿大学医学部 消化器内科 米田 頼晃  
〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377番地の2

【運営事務局】

株式会社プランニングウィル  
〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-5 石渡ビル6F

KINDAI  
UNIVERSITY

# 第16回拡大内視鏡研究会 日程表

9:25 ~ 9:30	<b>開会挨拶</b> 代表世話人：工藤 進英(昭和大学横浜市北部病院 消化器センター) 当番世話人：櫻田 博史(近畿大学医学部 消化器内科)
9:30 ~ 10:20	<b>セッション1 『咽頭・食道』</b> 座長：有馬美和子(埼玉県立がんセンター 内視鏡科) 南 ひとみ(長崎大学病院 消化器内科) 病理コメンテーター：河内 洋(がん研究会有明病院 病理部)
休憩	
10:30 ~ 11:00	<b>モーニングセミナー</b> 共催：富士フイルム株式会社/富士フイルムメディカル株式会社 <b>『咽頭・食道癌の診断』</b> 座長：大森 泰(川崎市立井田病院 内視鏡センター) 講師：石原 立(大阪国際がんセンター 消化管内科)
11:00 ~ 11:50	<b>セッション2 『胃』</b> 座長：八尾 建史(福岡大学筑紫病院 内視鏡部) 高橋 宏明(社会医療法人 恵佑会第2病院) 病理コメンテーター：八尾 隆史(順天堂大学医学部 人体病理病態学)
11:50 ~ 12:50	<b>セッション3 『胃・十二指腸』</b> 座長：小山 恒男(佐久総合病院 佐久医療センター 内視鏡内科) 小林 正明(新潟県立がんセンター新潟病院 内科) 病理コメンテーター：二村 聡(福岡大学医学部 病理学講座)
休憩	
13:00 ~ 13:50	<b>ランチョンセミナー</b> <span style="float: right;">共催：EA ファーマ株式会社</span> <b>『ピロリ未感染時代の胃の診断学』</b> 座長：上堂 文也(大阪国際がんセンター 消化管内科) 講師：平澤 俊明(がん研有明病院 消化器センター 上部消化管内科)
休憩	
14:00 ~ 14:50	<b>セッション4 『小腸・大腸』</b> 座長： <u>鶴田 修</u> (久留米大学医学部 消化器病センター) <u>藤井 隆広</u> (医療法人隆風会 藤井隆広クリニック) 病理コメンテーター：味岡 洋一(新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子・診断病理学分野)
休憩	